

地域のお作法 発見方法

オンライン講義・フィールドワーク・現場実習



2022年
6月開始

講座のご案内

受講料は **無料**

ただしフィールドワーク及び現場実習地の最寄り駅までの交通費や研修期間中の宿泊代などは受講者の負担となります。また、コロナの影響によりフィールドワーク及び現場実習の内容を一部変更する場合があります。

入門

2022年6月～8月
オンライン講義

地域のお作法の重要性

- 6/4 (土) メタファシリテーション入門1
- 6/25 (土) メタファシリテーション入門2
- 7/9 (土) 途上国の地域開発と日本
- 7/23 (土) ローカル・ガバナンスとは1
- 8/6 (土) ローカル・ガバナンスとは2

実習

2022年8月～9月
フィールドワーク・現場実習

地域のお作法の実習

- 8/27 (土) 近江八幡フィールドワーク
- 9/23・24・25 (金祝・土・日)
揖斐川上流域現場実習

応用

2022年8月～10月
オンラインサポート

参加者各自の実践

- ・実践計画の立案
- ・オンライン相談
- ・地域行事への参加
- ・修了証の授与

ローカル・ガバナンスを知っていますか？

明文化されていない地域独自のお作法のことです。これまで開発で住民の巻き込みに苦労してきた方、今まさに地方でのまちづくりで悩んでいる方、これから住民とともに地域開発を行う予定の方、ローカル・ガバナンスについて学んで地域開発を円滑に進めるためのノウハウを身に付けませんか？

こんな方に受講をおすすめします

NGO・NPOスタッフ JICA海外協力隊(OB/OGを含む) 地域おこし協力隊
開発コンサルタント等 職員 高校生・大学生・大学院生



👉 説明会の申込みはコチラ



👉 講座の詳細・応募はコチラ

※説明会に不参加でも、応募は可能です。

NPO法人泉京・垂井

岐阜県不破郡垂井町宮代1794番地の1

電話:0584-23-3010 メール:info@sento-tarui.org

入門期：6月～8月
オンライン講義

実習期：8月～9月
フィールドワーク・現場実習

応用期：8月～
無料相談・各自実践

2022年
講座
案内

講座・講師陣の紹介



NPO法人泉京・垂井副代表理事
神田 浩史

オンライン講義、現場実習 近江八幡フィールドワーク

垂井町でフェアトレードタウンの推進・実現を目指すフェアトレードタウン垂井推進委員会会長。政府開発援助(ODA)を担う開発コンサルタント企業に6年間勤務した後にNGOの世界に足を踏み入れ、地域社会ごとのローカル・ガバナンスの違いなどについての研鑽を重ねる。



旧坂内村元村長
田中 正敏

現場実習

揖斐郡森林組合・元組合長、認定NPO法人JUON(樹恩)NETWORK元理事で、現在も揖斐川町老人クラブ連合会会長や坂内観光協会会長を務める。旧坂内村を拠点に、数多くの住民主体の地域づくりに関わる。移住者受け入れにも熱心で、ローカル・ガバナンスの良き指南者。



認定NPO法人ムラのミライ
和田 信明

オンライン講義、現場実習

認定NPO法人ムラのミライ創業者。課題を抱える当事者自身が問題や解決方法に気づくよう会話を組み立てていくメタファシリテーション手法の生みの親。途上国支援の現場だけでなく、国内でも医療、保健、福祉、教育、まちづくりなどの専門職を対象にした研修を多数企画・実施。



呉服屋ラポラポラ・スープ屋さん
永田 麻紗子

現場実習

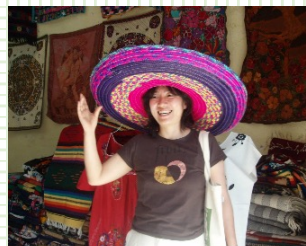
北海道出身。京都市、岐阜県の大垣市上石津町、不破郡垂井町で数年ずつ店を営み、旧坂内村に移住。今は家族で音楽活動をしながら、揖斐郡の揖斐川町坂内地区や池田町で呉服屋ラポラポラとスープ屋さんを営む。2021年4月には揖斐にフリースクールを開校した。



認定NPO法人ムラのミライ
原 康子

オンライン講義、現場実習

認定NPO法人ムラのミライ研修事業チーフ。住民主体の事業担当としてインド駐在を経て、アジア、アフリカの各地でメタファシリテーション手法の研修を実施。国内では共同保育の仕組みづくり事業や厚生労働省委託事業での保健・福祉の専門職への研修に従事。



JICA海外協力隊技術顧問
三好 直子

現場実習

JICA海外協力隊の環境教育部門で技術顧問を務める。公益財団法人日本シェアリングネイチャー協会専務理事。「自然・異文化・体験からの学び」をキーワードに、ネイチャーゲームの指導・普及に努める第一人者。



岐阜協立大学経済学部准教授
菊本 舞

オンライン講義

研究テーマは、地域再生における非経済的側面の果たす役割及び機能。持続可能な地域社会やローカル・ガバナンスについて調査研究を進めているほか、大垣市まちづくり市民活動育成支援推進委員会委員長などの社会活動にも努めている。



宿屋揖斐川オーナー
保井 円

現場実習

フランスで国語の教師を務めた後、実家の神社を継ぐために帰国。古き良き日本の伝統文化を色濃く残す岐阜県揖斐川町の暮らしぶりの奥深さに感銘を受けたことをきっかけに、築130年の実家を改修して古民家貸別荘、宿屋揖斐川を開業。国内外から旅行客を受け入れている。



NPO法人AMネット・代表理事
松平 尚也

近江八幡フィールドワーク

2003年の世界水フォーラムを契機に桂川上流域の京都市北部に移住し、専門の有機農家を営む。その後、琵琶湖流域の近江八幡市に移住。地域・流域の活動のほか、持続可能な農業・農村の研究、各種媒体への執筆を続けている。



京都大学農学研究科博士後期課程
山本 奈美

近江八幡フィールドワーク

10年以上有機農業を営み、その傍ら農産物を介した生産者と消費者の連携による新たな関係性の構築の実践と研究に取り組む。国内外でのNGO活動などの経験を活かしたグローバルな視点から、日本の食や農山村の情報を発信している。

お問い合わせ
NPO法人泉京・垂井



0584-23-3010

電話受付 / 10:00～17:00 (火～土)
メール / info@sento-tarui.org